

ようこそ！
デイサービス ゆずり葉へ



株式会社 ゆずり葉

デイサービスゆずり葉 令和元年度「上半期運営推進会議」

令和元年9月24日（火）16：45～17：30

出席：*S様（利用者様代表）
*I様（ご家族代表）
*H様（民生委員・ご家族）
*K様（西蔭平地区自治会長）
*S様（住吉地区地域包括支援センター）
*T様（住之江在宅介護支援センター）
*日高（ゆずり葉新名爪 施設長）
*徳留・新穂・日高（デイサービスゆずり葉）

①事業所概要

事業所種別：地域密着型通所介護

利用定員：18名

サービス提供時間：9：00～16：15

営業時間：8：30～17：30

加算：入浴介助加算、個別機能訓練加算II、介護職員処遇改善加算I

10月からの介護職員等特定処遇改善加算は算定せず、来期より算定予定。

（職員配置）9月24日（火）時点

常勤職員：管理者1名（SW兼務）、生活相談員2名（介護職員兼務）

看護職員1名（機能訓練指導員兼務）、介護職員1名

非常勤職員：看護職員2名（機能訓練指導員兼務）、介護職員1名

計8名

デイサービスゆずり葉「理念」

*やりたい事が探せる場所を目指します。

*喜怒哀楽すべてを受け止められる場所を目指します。

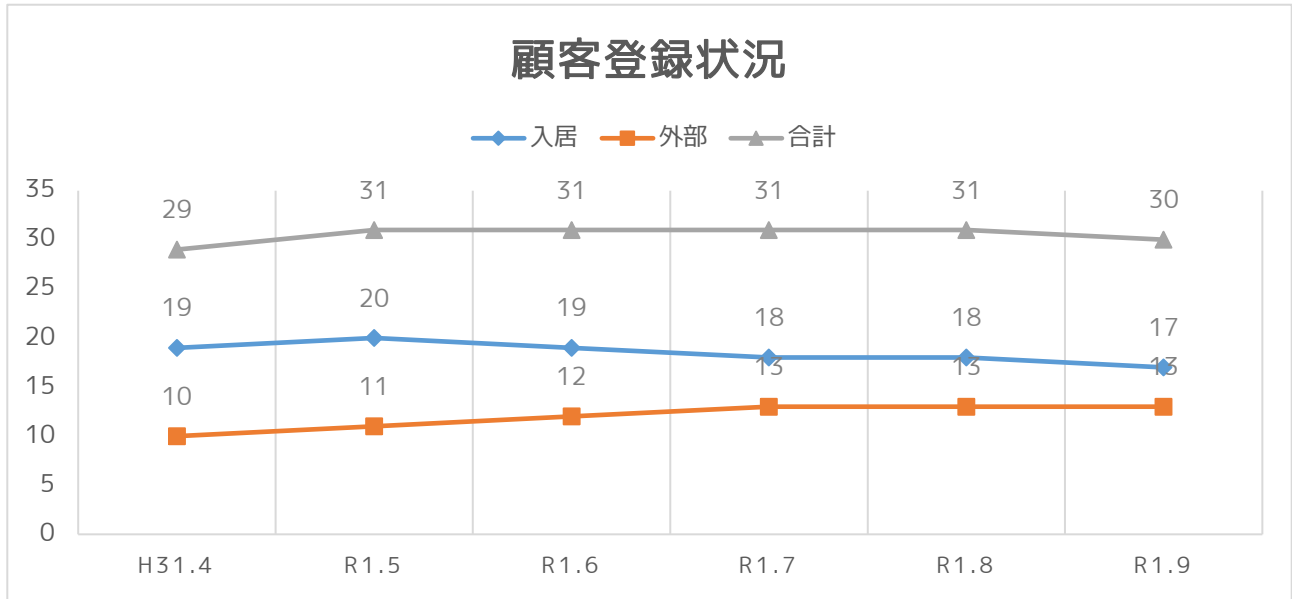
私たちは、デイサービスゆずり葉を利用される全ての皆様にとって
自分らしくあれる「居場所」づくりを目指します。



②利用者数や要介護度等について

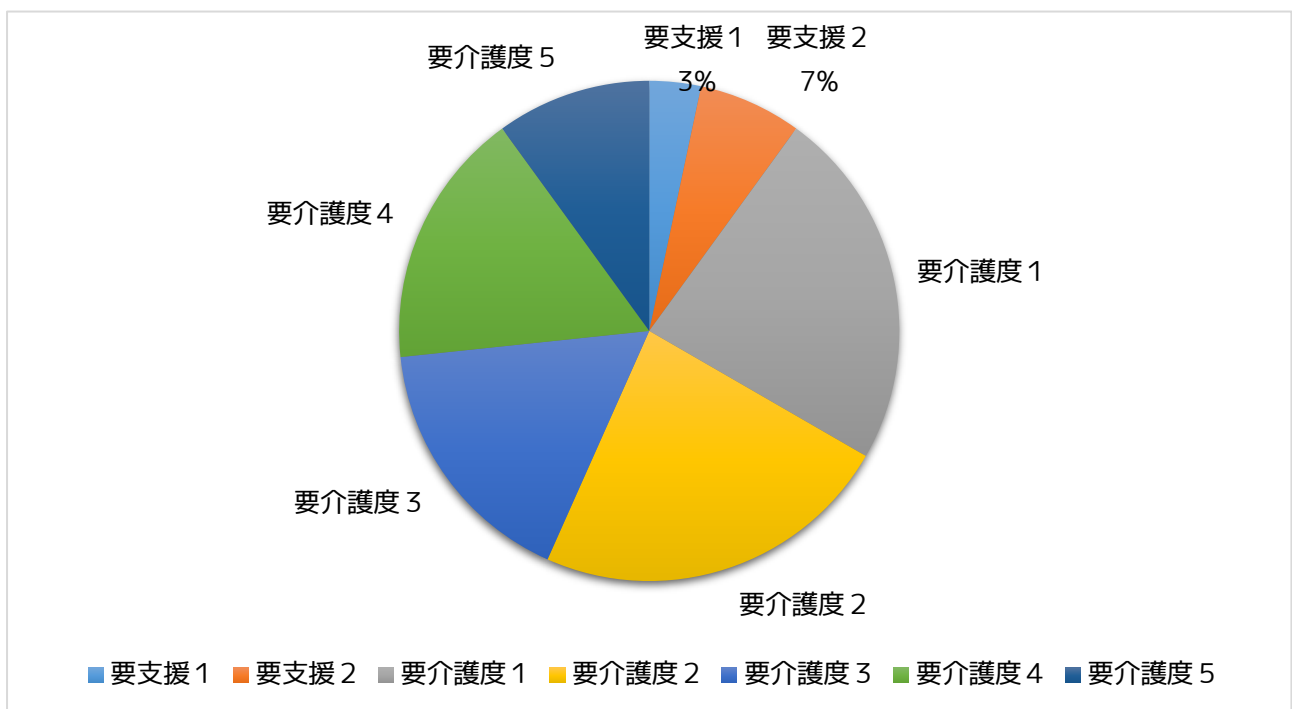
(利用者数)

令和元年 9 月 24 日時点の顧客登録数：30 名（外部顧客：13 名 入居顧客：17 名）



外部新規	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
+2						
+1		T 様	K 様	T 様		
-1						

(要介護度等)



4月からの半年間で、地域から新たに3名の方が利用を開始されました。お一人は要支援1の方。お二人は要介護の方です。要介護のお二人は、共通課題として、ご自宅での入浴が行えない。閉じこもり。生活リズムの乱れ。認知機能や身体機能の低下と、その事に伴うご家族の介護負担等がある方たちです。お二人共に、他社の介護サービスには結び付かない状況があり、ゆずり葉を体験ご利用後にサービスを希望され、現在までご利用を継続されています。現在、登録されている地域からの利用者様13名の内、1名は入院中です。また、入居者様と地域からの利用者様の割合では、少しずつ地域の方の割合が増えております。9/24時点での平均介護度は、約2.6です。地域の方の割合が増えると、徐々に平均介護度も下がり、お元気な方が増えていく事が予想できます。

③行事等の取り組み状況

4月：4/4.外出レク（西都原コスモス）4/10.料理レク（あられ）4/18.ぬか床作り
4/23.誕生会（音楽ボランティア）

5月：5/1・3料理レク（筍炒め）5/15.遠足・誕生会（フローランテ）

6月：6/3.外出レク（市民の森花ショウブ）6/6.料理レク（ねりくり）6/17.誕生会
6/20.料理レク（白和え）6/29.料理レク（ポテトサラダ）

7月：7/15.散歩（八幡神社）7/18.そうめん流し7/22.ミニ夏祭り・誕生会
7/25.料理レク（なすの煮びたし）

8月：8/7.料理レク（新米おにぎり）8/8.外出レク（歴史資料館）
8/30.誕生会・料理レク（巻き寿司）

9月：9/7.ゆずり葉夏祭り9/13.9/14料理レク（お月見団子）9/17.敬老会・誕生会
※これらに加え、毎月、園芸、音楽療法・高齢者向けヨガ教室を実施しています。

④事故やヒヤリハットの件数と事例紹介

事故：1件 ヒヤリ：1件（内訳～離脱リスク：0件・物損リスク：0件・転倒リスク：1件）
8/8（木）I様（転倒リスク）

（内容）外出レクで、歴史資料館を見学されている最中。室内を手引き歩行にて最後まで歩いて見学されたが、帰り際に膝折れし、とっさに隣に付き添っていた職員が支える事で転倒には至らず。

（原因）普段から、ふらつく事がある。外出レクという普段とは違う環境や、歩行時間も長く、疲労が出たのではないかと。

（対策）体調や、疲労の確認等を行ないながら、支えられる位置での付き添い歩行は継続。特に外出行事の場合は、疲労等のご様子に応じて、車椅子の使用についても本人様へ希望を確認する。

8/3（土）Y様（転倒）

（内容）送迎でご自宅へ伺った際に、ご自宅内で姿の見えない利用者様に「おはようございます。」と声掛けの数秒後、一度送迎車両で受け入れ準備をしてから玄関へ戻る際、玄関から大きな物音がし、玄関内側に転倒されている本人様を発見。

（原因）右変形性膝関節症と頸椎症性脊髄症と認知症状によりご自宅内での転倒が頻回。（多い月で3回を把握。デイ利用後は頻度が減っている。）。転倒後の受診で直接主治医からお聞きした意見は、手術をしない選択をした以上、必ず転倒する身体ですとの事。歩行器や杖などの福祉用具は、認知症状や本人様の意識により、職員の声掛けがないと使用が難しい。

（対策）送迎時は、荷物の運搬は後回しにする。本人様が玄関から見える範囲に出てこられた時点で、本人様に許可をもらい自宅内へ上がる。以降は送迎車まで付添いを行うことで転倒を防止する。

⑤介護職員等への研修等質の向上に向けた取り組み

【定例会議】

4/17（水）カンファレンス、行事について、業務改善について

5/10（金）カンファレンス、行事について、業務改善について

6/10（月）カンファレンス、行事について、業務改善について

7/11（木）カンファレンス、行事について、業務改善について、その他

8/16（金）カンファレンス、行事について、業務改善について、その他

9/11（水）カンファレンス、行事について、業務改善について

【研修】

4/8（月）.床ずれと体位交換について（外部：乗口先生）

4/19（金）.次期制度改正について（内部：徳留 adm.）

5/14（火）17（金）.ほめ達（外部：小澤先生）

6/16（水）.尊厳について（外部：増田先生）

7/18（木）.食中毒について（内部：弓指 NS）

7/19（金）.地域会議と和光方式について（第一回）（通連協研修委員会）

8/22（木）.電話対応について（内部：徳留 adm.）

8/23（金）.地域会議と和光方式について（第二回）（通連協研修委員会）

9/18（水）.移乗・移動介助技術（外部：増田先生）

9/25 より一週間を予定.認知症ケア～その人らしさ～（内部：動画研修）

前年度は、ひと月に平均3つの研修が企画されており、研修の多さが職員の負担増にもなっていました。今年度は、デイサービス職員が受ける基本の研修は月に2つとしながら、その他の研修に関しては、内容に応じて必要だと思われる職員に参加の打診を行っています。今回は、9月に動画研修を試験的に行います。研修場所や受講時間に縛られない内容です。また、自発的な研修については、これまで通りに研修費負担の補助を行うなどして、職員の学びを会社として支援しています。各種資格取得に向けた費用面の補助や資格取得時の賞与。シフト面で職員を応援する仕組みも随時行っております。今期、実務者研修の受講費用を会社が負担しながら、2名の職員が資格取得に向けて学んでいるところです。

⑥利用者の健康管理に係る取り組み

【脱水予防】

- ・水分摂取量のチェック
- ・湿度・温度管理（送迎時に行なう、利用者様宅の温度管理や提案を含む）

【感染症予防】

- ・インフルエンザ発生時期の面会制限や施設基準での運営
※今年度は流行時期が早く、面会等の制限も前倒しで検討中です。
- ・日々の手洗い、正しい手洗いがテーマのレクリエーションの実施
- ・食中毒等、感染症発生時期の設備消毒
- ・日々の服薬確認、管理
- ・入浴毎のボディチェック
- ・送迎時に行う、身体状況についての情報交換

⑦防災の取り組みに関する報告

- ・防火設備点検を専門業者に委託
- ・年2回の自衛消防訓練（令和元年6月5日（水）に実施）
※土砂災害を想定した防災訓練は10月に実施予定。

⑧地域との連携

8/20（火）住吉地区第6回情報交換会

9/7（土）ゆずり葉夏の夜祭り

⑨今後の展開について

- ・下記のとおり、現在の取り組みを少しずつ発展させる取り組みを行います。
- ・9月より1年間、月に2回の外部講師指導（PT）を受けながら、機能訓練や身体介護技術を行う職員の人材力向上を図ります。
- ・利用者様、職員に対するメンタル面への良い効果を目的に、デイサービス内の緑化を進めます。
- ・日曜日を活用した地域の高齢者向け健康教室開催を上半期に行えなかった為、下半期の11月に実施予定とします。
- ・地域に向けた情報提供として、ニュースレターを発行します。8月に創刊号。第2号は11月に発行予定です。第2号では、介護に関する情報提供。私たちの様な介護事業所へ興味関心を持ってもらえるような内容。地域包括支援センターとはどういったところなのか？といった社会科見学風の内容を、一般の方目線で作成します。

（自己評価）

令和元年9月で、オープンより3年10ヶ月となります。今年デイサービスの利用を開始された方も、その内お二人は、利用当初は遅い時間での迎えを希望されていましたが、生活リズムが利用後より徐々に安定され始め、ご家族からも提供開始時間を早める希望が出るなど、その利用効果が見られています。機能訓練においては、ゆずり葉ではPTやOTではなく、看護職員による提供です。利用者様お一人お一人にどの様なメニューが良いのかを試行錯誤しながらその力を付けてきました。課題としてリハビリの専門職の知識や技術には及ばない面がありますが、質の高い機能訓練の提供を目指し、今期より一年、毎月2回、外部講師（PT）より学び続けます。見学される方、ご家族、様々な方から、「ゆずり葉さんは明るいですよね、スタッフさんも明るいですね。」等の声を頂きます。“人材”に対する外からの声は、ゆずり葉としても“人材”として力を伸ばす事を強く意識しているところです。少しずつでも学び続けられている事、成長し続けられている事実が、私たちの強みであり、評価ができる部分であると考えております。

⑩活動報告

- ・スライドショーによる活動報告（約13min）

⑪皆様のご意見をお聞かせください。

本日はご参加いただき、誠にありがとうございました。

